



## 心と体の両面から社員を支える 健康経営で企業価値を最大限に

### 【プロフィール】

鹿児島県奄美大島生まれ。NEC日本電気㈱に就職後、コンピューターのシステムサポートに携わる。1976年に創業し、印刷業界に飛び込む。1979年に西日本ビジネス印刷株式会社を設立。

西日本ビジネス印刷株式会社 代表取締役会長 園田 慶一氏

### 業界に先駆けたデジタル化で 競合との差別化を実現

1979年に設立された福岡市中央区平尾の西日本ビジネス印刷㈱。印刷業界では先駆けて印刷物のネット受注を行うなど、デジタル化を武器に事業の拡大を続けてきました。加えて工程管理システムを自社開発し、現在ではノーコードプログラミングを駆使したシステムを活用するなど、積極的なIT化を進めている企業です。

創業者であり、現在は代表取締役会長を務める園田慶一さんはコンピューターメーカー出身で、印刷業はゼロからのスタートだったといいます。「当時は世の中に印刷物が溢れていた

ので、自分でも挑戦できるのではないかと始めました。けれど印刷物の製作には非常に複雑な工程を伴い、また技術力を要するものでした」と振り返ります。そこで競合との差別化となったのがデジタル化でした。園田さんは、コンピューターメーカーでの経験を活かし、印刷物の編集から版下作成までをコンピューターで行うDTPシステムをいち早く採用するなど、ITによる業務効率化で業界内での存在感を増してきました。現在では、法人だけではなくネットによる個人からの発注も増え、取引先は全国へと広がっています。

### 笑顔あふれる職場づくりを 実現できる健康経営

カタログやパンフレットなどさまざま

な印刷物に携わる西日本ビジネス印刷ですが、実は健康経営の面で全国から注目を集めています。その取組みが始まったのは2016年のこと。社員が働く環境は、明るく笑顔であふれているべきとの考えから、社員の心と体の健康維持を経営に取り入れています。

「健康経営という言葉が始めてからすぐに労働三法の大改正が行われ、働き方改革が始まりました。当社では、実はそれ以前から子育てや介護のためのテレワークを実施するなどの取組みを進めていましたから、結果としてさまざまな経営改革につながっていったのではないかと思います」と園田さん。

具体的には毎朝のラジオ体操に始まり、体調が優れない社員に対しては声かけを実施。加えて、がん検診も推奨



1



2



3



4

1 西日本ビジネス印刷は、健康経営優良法人や福岡市Well-being & SDGsマスターをはじめ、健康経営、環境問題などで数多くの認証・評価を得ている

3 社内で行われるセミナーには、全社員が時間をつくって参加。人権セミナーなど外部講師を招いての勉強会も定期的に開催している

2 男女ともに笑顔あふれる職場づくりを目指し、仕事と育児や介護の両立をサポートするなど女性の活躍推進にも積極的に取り組んでいる

4 福岡市史跡・野村望東尼山荘跡で行われている「平尾望東尼祭」に協賛するなど、地域のイベントにも協力を惜しまない

し、入院に伴う保証人については会社でも対応するなどきめ細かなフォローを行っています。またメンタルヘルスに関しては、部署を横断した推進委員会を設置し、社員へのストレスチェックや人権セミナーをはじめとした各種社内研修を行うほか、相談窓口を設けて広く意見を吸い上げています。就業規則も見直し、時間単位の有給を認め、子育てや介護、あるいは自身の通院などに柔軟に対応できるよう配慮しています。

「会社として健康経営宣言を行い、担当者に限らず全社を挙げて取り組むように進めています。モットーは『笑顔は幸せの呼び水・誘い水』。何より働いてくれている社員の笑顔が大切だと考えています」

そうした健康経営の推進により、社員の定着率はアップ。社員間のトラブルや健康による問題が減ったことで、生産性も向上しているといいます。加えてワークライフバランスを重視する若年者の採用活動にも大きく影響し、エントリー数は求人数を上回るようになったそうです。

しかし、健康経営を進めるにあたっては、社員からの理解を得るための課

題もありました。「例えば、健康に関するセミナーを行うにしても、業務時間を1時間ほど奪われてしまいます。健康経営に関するさまざまな取組みが、社員一人ひとりにとって、そして組織にとって、どのような意義をもつのかについてコツコツと説明を重ねることで社員の認識を高めるべきだと思っています。また、メンタルヘルスなどのセンシティブな側面を社員が不安なく相談できるようにするためにも、健康経営への取組みに対する社員からの理解は必要不可欠です」と園田さん。

### 打算的な活動ではなく 社会のため、社員のために

西日本ビジネス印刷は、環境問題や子どもの交通安全など多くの社会貢献活動にも参画しています。そして、その活動が社会や周囲に認められ、結果的に経営の好循環につながっているのだといいます。「企業の評価は、利益重視・規模重視から、地域への貢献など多角的に見られる時代になりました。健康経営にしても、ほかの社会貢献活動にしても、売上につなげようと

いう打算的な活動ではなく、純粋に企業価値を高める、社員が働きやすい環境をつくるという姿勢が重要」と強調します。

そうした姿勢は、社員の意識向上にも影響を及ぼしています。例えば業務に関して社員から活発な効率化のアイデアが提案されるなど、副次的なメリットも大きいといいます。

「中小企業だからこそより地域に近いところで活動ができるのだと感じています。社会のために、社員のために、会社として何ができるかを常にアンテナを張って取り組んでいくことが、会社の未来につながっていくのではないのでしょうか」と園田さんは語ります。

取材日：9月15日



西日本ビジネス印刷株式会社

〒810-0014 福岡市中央区平尾5-5-30

TEL:092-531-4757

<https://www.n-global.co.jp/>